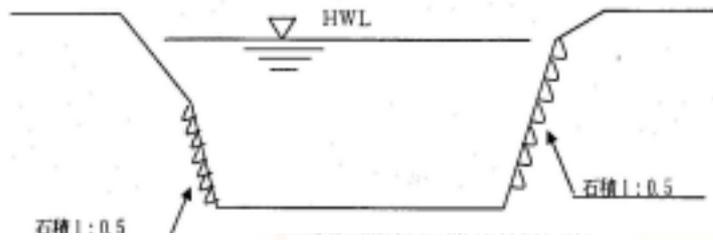
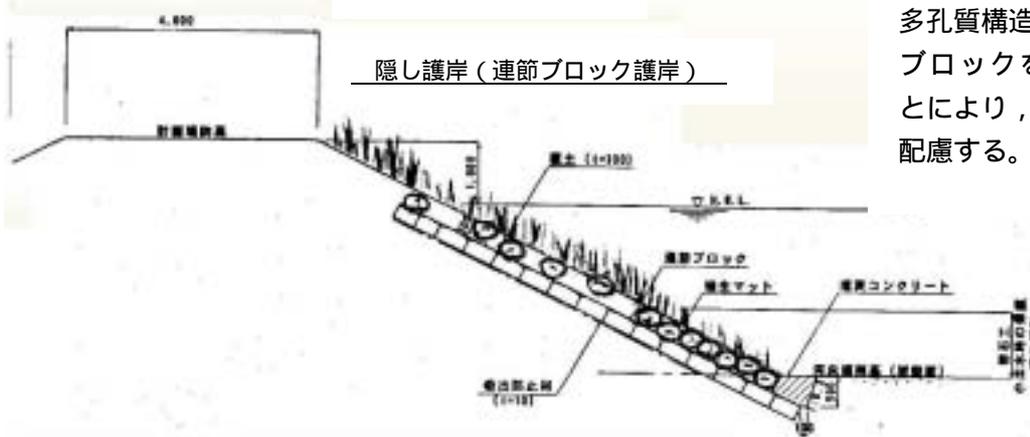


事例 NO.22		
事業の種類	河川等	
環境配慮の概要	多自然型河川(環境保全ブロック護岸の設置による多様な河道形態の維持)	
事業名	一級河川高梁川水系成羽川 広域一般河川改修事業	
事業主体	広島県(担当機関：備北地域事務所建設局庄原支局工務第一課)	
実施場所	広島県比婆郡東城町川東 成羽川	
実施期間	平成9年～平成32年	
事業概要	全体事業費	2,238百万円
	施工区間等	成羽川(東城町川東地区), 全体計画延長1,600m
	事業の目的・経緯等	成羽川には, 多種多様な動植物の生息・生育環境のほか, 帝釈峡のように周辺環境と一体となった河川環境が形成されており, 周辺の自然環境の維持・継続に配慮した河川改修を行うこととした。
環境配慮の内容	<p>天然記念物の保存等</p> <p>県指定天然記念物である甌穴^{おうけつ}の保存に配慮し, また, 瀬・淵や河岸など, 多様な河道形態を極力維持することによりアユ, アマゴ, ツルヨシなどの動植物の生息・生育環境の保全に努める。指定区域外となつてはいるが, 甌穴の進行した筋上の河床が存在しているため, 河床に露出する岩盤の掘削を極力さけ, 甌穴を改変しないようにすることにより環境の保全を図る。</p> <p>各ゾーンの設定</p> <p>小学校や市街地・道の駅等が周辺にあることから人と川とが触れ合えることのできる川づくりを計画した。</p> <p>(1) 水辺の広場自然体験ゾーン(子供の遊び場利用となるため, 極力安全な材料を選定: 隠し護岸)</p> <p>(2) 立ち寄りの水辺交流親水ゾーン(植生が可能な護岸材料: 隠し護岸)</p> <p>(3) 水辺の再現ゾーン(植生豊かな現状を再現し低木等の積極的な植生が可能: 環境保全ブロック護岸)</p> <p>(4) 地域の水辺学習ゾーン(水際に近づける親水性の高い護岸計画を行い, 維持管理を考慮し植生を制御した護岸計画: 自然石練張護岸)</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>甌穴 川底の岩盤に掘られた円筒形の穴。 成羽川の上流にあたる東城川の川床は新生代第3紀中新世(約3,500万年から2,500万年前)の古瀬戸内海の海底に堆積してできた泥岩層であるが, 比較的軟らかく, 岩盤のくぼみに入った小石が水の流れて回転して岩石を削ることができる。</p> </div>	
施工後の状況	<p>効果</p> <p>・法枠工, 自然石積や, かごマット護岸を施工した箇所(左岸L=505m)において, 植生の自然回復が見られる。</p>	
留意点等		

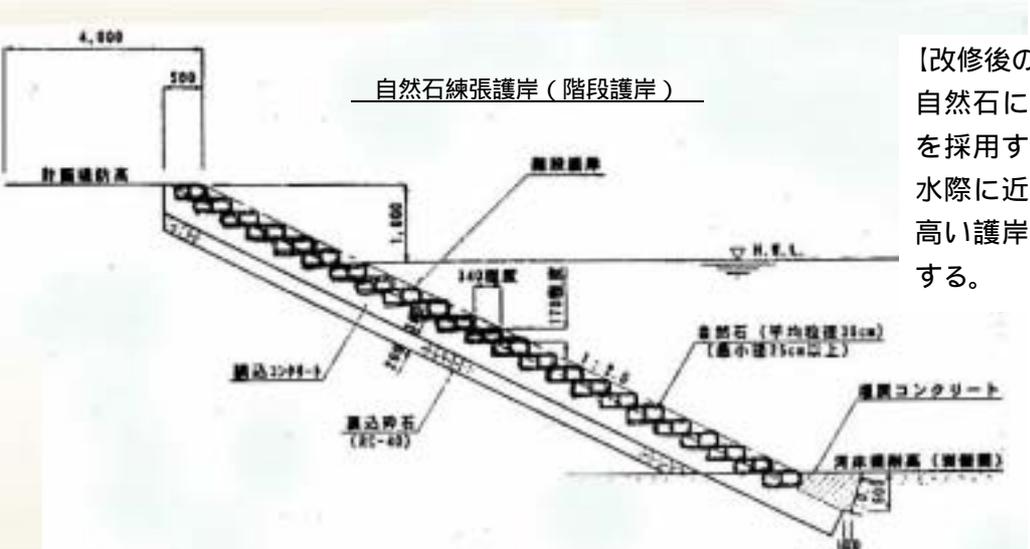
(図面, 写真, 説明)



【改修前の断面図】



【改修後の断面図1】
多孔質構造である、連節ブロックを採用することにより、植生の回復に配慮する。



【改修後の断面図2】
自然石による階段式護岸を採用することにより、水際に近づける親水性の高い護岸となるよう配慮する。



【改修後写真】
支川処理の状況。自然石積工を採用することで周囲の景観に配慮した。